

射水市地域公共交通網形成計画の進捗について

基本方針	目標	指標		平成30年度 (2018年度)	目標値 令和6年度 (2024年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	主な取組状況
1 まちづくりと連携した公共交通網の整備	(1) 都市の在り方を踏まえた公共交通網の構築	市民満足度 ※アンケート調査結果 (満足度「普通」以上、使わないのでわからない除く。)	あいの風とやま鉄道	81%	85%	—	—	—	—	83%	<p><令和2年度></p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバス等再編プランの策定 地域主体交通の制度設計に向けた課題整理と、関心のある地域との意見交換 <p><令和3年度></p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバス等再編プランの実施 地域あいのり移動支援実証事業の実施 <p><令和4年度></p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバス等の経路や運行内容の見直し 地域あいのり移動支援実証事業の実施 <p><令和5年度></p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスの経路や運行内容の見直し (資料2-1) 地域あいのり移動支援実証事業の実施 (資料2-2) A I オンデマンドバス「のるーと射水」の本格運行 (資料2-4)
			万葉線	90%	90%	—	—	—	—	90%	
			路線バス	69%	75%	—	—	—	—	67%	
			コミュニティバス	57%	70%	—	—	—	—	57%	
			デマンドタクシー	83%	85%	—	—	—	—	75%	
(2) 利便性の高い交通結節点づくり	拠点での乗降者数 ※コミュニティバスのみ	クロスベイ新湊	81人/日	110人/日	71人/日	79人/日	110人/日	126人/日	150人/日	<p><令和2年度></p> <ul style="list-style-type: none"> クロスベイ新湊における総合的な交通案内の設置や待合環境の整備 小杉駅周辺地区まちづくり基本構想の策定 越中大門駅のエレベーター設置に向けた関係機関への要望 <p><令和3年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ダイヤ改正に併せた小杉駅南口におけるコミュニティバス案内板の改善 越中大門駅周辺地区バリアフリー基本構想の策定 <p><令和4年度></p> <ul style="list-style-type: none"> 越中大門駅エレベーター設置に係る基本設計の実施 <p><令和5年度></p> <ul style="list-style-type: none"> 越中大門駅エレベーター設置に係る詳細設計等の実施 (資料2-3) 	
		小杉駅	467人/日	500人/日	473人/日	392人/日	395人/日	426人/日	440人/日		
		越中大門駅	42人/日	50人/日	47人/日	34人/日	33人/日	30人/日	40人/日		
		射水市民病院	168人/日	180人/日	172人/日	141人/日	168人/日	171人/日	171人/日		
		太閤山 (バスコ)	86人/日	100人/日	89人/日	71人/日	66人/日	63人/日	65人/日		
2 持続可能な公共交通の仕組みづくり	(1) 持続可能な仕組みの構築	1人当たりの運行負担金	コミュニティバス・デマンドタクシー	637円/人	550円/人	709円/人	864円/人	790円/人	764円/人	763円/人	<p><令和2年度></p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバス等再編プランの策定 <p><令和3年度></p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバス等再編プランの実施 コミュニティバスへのデジタルサイネージ設置 <p><令和4年度></p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバス等の経路や運行内容の見直し <p><令和5年度></p> <ul style="list-style-type: none"> (再掲)コミュニティバスの経路や運行内容の見直し (資料2-1) A I オンデマンドバス「のるーと射水」の本格運行 (資料2-4)
			コミュニティバス	4.8人/便	5.5人/便	4.4人/便	3.8人/便	3.9人/便	4.2人/便	4.3人/便	
	(2) 公共交通の利用環境の向上	便平均利用者数	コミュニティバス	4.8人/便	5.5人/便	4.4人/便	3.8人/便	3.9人/便	4.2人/便	4.3人/便	<p><令和2年度></p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスの電子定期導入の実証実験 クロスベイ新湊でのバスロケーションシステムのサイネージ設置 市内公共交通の総合時刻表・路線図の作成 <p><令和3年度></p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスの電子定期導入の実証実験 市内公共交通の総合時刻表・路線図の配布 地域団体でのコミュニティバスの乗り方教室の実施 (再掲)コミュニティバスへのデジタルサイネージ設置 <p><令和4年度></p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスへのキャッシュレス決済の導入 出前講座 (公共交通のかしこい使い方) の実施 <p><令和5年度></p> <ul style="list-style-type: none"> 万葉線へのキャッシュレス決済導入に向けての取組 (資料2-5) 出前講座 (公共交通のかしこい使い方) の実施 (資料2-6)
			デマンドタクシー	1.7人/便	2.0人/便	1.7人/便	1.6人/便	1.6人/便	1.4人/便	1.3人/便	
3 暮らしを支え、交流を促す交通機能の充実	(1) 日常の暮らしを支える交通手段の確保	高齢者運転免許証自主返納支援事業利用件数		296件/年	500件/年	352件/年	274件/年	252件/年	229件/年	217件/年	<p><令和2年度></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域主体交通と福祉施策との連携について調査研究 <p><令和3年度></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域あいのり移動支援実証事業の実施 <p><令和4年度></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域あいのり移動支援実証事業の実施 高齢者運転免許証自主返納支援事業の申請期限延長 <p><令和5年度></p> <ul style="list-style-type: none"> (再掲)地域あいのり移動支援実証事業の実施 (資料2-2)
			※参考：県 3,829千件/年 (前年比： -655千件)								
	(2) 地域内外の交流を促す公共交通の充実	総利用者数	あいの風とやま鉄道	1,558千人/年 [市内乗降車計]	1,600千人/年 [市内乗降車計]	1,559千人/年 [市内乗降車計]	1,198千人/年 [市内乗降車計]	1,337千人/年 [市内乗降車計]	1,471千人/年 [市内乗降車計]	集計中 [市内乗降車計]	<p><令和2年度></p> <ul style="list-style-type: none"> 射水市周遊バス (新高岡駅～クロスベイ新湊～海王丸パーク～小杉駅) の実証運行 クロスベイ新湊周辺での電気三輪自動車の実証運行 自転車の活用推進に係る調査研究 <p><令和3年度></p> <ul style="list-style-type: none"> 射水市周遊バス・電気三輪自動車の実証運行 クロスベイ新湊でのレンタサイクル設置と、万葉線と連携した自転車活用の推進 (サイクルトラム、フォトコンテストなど) <p><令和4年度></p> <ul style="list-style-type: none"> 電気三輪自動車の実証運行 A I オンデマンドバス導入に向けた調査・研究の実施 自動運転課題調査の実施 <p><令和5年度></p> <ul style="list-style-type: none"> 電気三輪自動車の実証運行 (再掲) A I オンデマンドバス「のるーと射水」の本格運行 (資料2-4) 自動運転技術の導入に向けた課題整理 (資料2-7)
万葉線			1,192千人/年 [全乗降車計]	1,200千人/年 [全乗降車計]	1,136千人/年 [全乗降車計]	804千人/年 [全乗降車計]	895千人/年 [全乗降車計]	1,002千人/年 [全乗降車計]	1,070千人/年 [全乗降車計]		
コミュニティバス・デマンドタクシー			419千人/年 [利用者数]	450千人/年 [利用者数]	391千人/年 [利用者数]	337千人/年 [利用者数]	348千人/年 [利用者数]	359千人/年 [利用者数]	388千人/年 [利用者数]		

コミュニティバスの経路や運行内容の見直し

1 概要

2024年問題に伴う運転手不足等に対応するため、市内の一部地域でのコミュニティバスからAIオンデマンドバス「のるーと射水」への転換等を行い、運行の効率化をはじめとする見直しを行った。

2 見直し内容（令和6年3月25日改正内容）

路線名		改正内容
①	新湊・大門線（北系統）	<ul style="list-style-type: none"> ・運行効率化のため、利用がない市民病院行き第1便の運行を取り止めた。（R4実績0.1人/日） ・⑦新湊・小杉線との乗継向上のため、越ノ瀧行き第7便の時間を変更した。
①	新湊・大門線（南系統）	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性向上のため、大島企業団地周辺のルートを変更した。
②	新湊・本江線	<ul style="list-style-type: none"> ・射北中学校の登下校に対応するため、冬季便の運行を取り止めた。 ・JAいみず野片口支店統合に伴い、バス停名称を変更した。
③	新湊東部・七美線	<ul style="list-style-type: none"> ・運行効率化のため、利用がない土日祝日の運行を取り止めた。（R4実績0.1～0.6人/便・日）
④	新湊西部・庄西塚原線（北系統）	<ul style="list-style-type: none"> ・運行効率化のため、利用がない土日祝日の運行を取り止めた。（R4実績0.1～0.4人/便・日） また、利用がない庄川口駅前の臨時バス停を廃止した。（R4実績乗り0.1人未満、降り0.1人/便・日）
⑤	新湊・越中大門駅線	<ul style="list-style-type: none"> ・運行効率化のため、大門方面行き第1便の運行を取り止めた（第2便に集約する）。
⑦	新湊・小杉線	<ul style="list-style-type: none"> ・運行効率化のため、利用が少ない日中の快速便を取り止めた。（1.2～4.2人/便・日、通常便は1時間間隔で運行継続。）また、新湊方面行第18便を快速便に変更した。 ・定時性の確保のため、「小杉駅南口」を通らず、「小杉駅前」のみに停車するルートに運行ルートを変更した。 ・定時性の確保のため、「小杉高校北」を通るルートから「小杉高校前」を通るルートに変更した。
⑧	小杉駅・大島中央循環線	<ul style="list-style-type: none"> ・定時性の確保のため、左回り1便の発車時刻を5分早めるとともに、バス停間の時間調整を行った。

⑫	小杉駅・金山線	<ul style="list-style-type: none"> ・平日日中と土日祝日の運行を「のるーと射水」へ転換した。(平日朝の通勤通学時間帯のみ運行する。) ・路線を集約し運行の効率化を図るため、⑬小杉地区循環線(西部循環)から千成商店街周辺を統合し、橋下条地区を小杉駅・太閤山循環線へ統合した。 ・射水市企業団地連絡協議会(小杉流通団地)からの要望により、流通センター南北バス停を新設した。
⑬	小杉地区循環線 (東部循環)	<ul style="list-style-type: none"> ・平日日中と土日祝日の運行を「のるーと射水」へ転換した。(平日朝の通勤通学時間帯のみ運行する。)
⑬	小杉地区循環線 (西部循環)	<ul style="list-style-type: none"> ・路線を集約し運行の効率化を図るため、⑫小杉駅・金山線、⑭小杉駅・太閤山循環線及び⑮市民病院・太閤山線へ分割、統合し、⑬小杉地区循環線(西部循環)は廃止した。
⑭	小杉駅・太閤山循環線	<ul style="list-style-type: none"> ・平日日中と土日祝日の運行を「のるーと射水」へ転換した。(平日朝の通勤通学時間帯のみ運行する。) ・路線を集約し運行の効率化を図るため、小杉駅・金山線から橋下条地区を統合し、⑬小杉地区循環線(西部循環)から太閤山地区を統合した。
⑮	市民病院・太閤山線	<ul style="list-style-type: none"> ・平日日中と土日祝日の運行を「のるーと射水」へ転換した。(平日朝の通勤通学時間帯のみ運行する。) ・路線を集約し運行の効率化を図るため、⑬小杉地区循環線(西部循環)から千成商店街周辺を統合した。

地域あいのり移動支援実証事業

1 事業概要

地域が主体となり、高齢者等の自宅から地域振興会内にある医療機関・店舗や最寄りの交通結節点をつなぐ移動手段の確保に係る取組を支援するもの。

- (1)実施主体(補助対象者) 地域振興会
 (2)補助対象経費 運行及び事務に要する経費
 (3)補 助 率 補助対象経費の1/2(上限:年額400,000円)

2 事業の現況

市内の1地域振興会で、以下のとおり本事業に取り組んでいます。

- (1)実施地域振興会 1地域振興会(黒河地域振興会)
 (2)運行開始日 令和4年2月15日
 (3)事業概要 次ページのとおり
 (4)利用実績(令和6年3月末時点)

年度	登録 人数	利用回数				利用 料金
		内訳				
		真生会	パスコ	小杉駅		
R3	13	0	0	0	0	
R4	18	104	42	52	10	173,680
R5	20	71	19	36	16	109,320

登録人数:黒河あいのりタクシーに利用登録をしている人数

利用回数:延べ利用回数

利用料金:タクシーのメーター料金

3 黒河地域振興会あいのりタクシー事業概要

(1)利用対象者

黒河地域振興会圏域に居住する高齢者(65歳以上)

(2)乗降場所

①利用申込者の自宅

②お出かけ先3か所(パスコ、真生会富山病院、小杉駅(市補助対象外))

(3)運行日時(毎日)

行き	10:00 発	11:00 発	—	13:00 発	14:00 発	15:00 発
帰り	11:30 発	12:30 発	13:30 発	14:30 発	15:30 発	16:30 発

(4)運行事業者

(有)小杉タクシー

(5)利用者登録

利用を希望する者は利用日の1週間前までに登録する。

黒河コミュニティセンターへ登録申請書を提出し登録料500円を納める。

(6)予約・申込方法

①予約受付（毎日10時から16時まで）

予約受付事務を黒河地域振興会から小杉タクシーへ委託し、利用者は利用日の1週間前から前日の16時までに小杉タクシーへ電話で予約する。予約時に、「黒河地域振興会あいのりタクシー」を利用する旨と、利用者の氏名と会員番号、利用を希望する時間帯と乗降場所を伝える。

②運行内容の決定

小杉タクシーは、翌日の運行内容を黒河地域振興会へFAX又はメールにて連絡し確定させる。

(7)キャンセルの方法

利用者は、出発時間までに小杉タクシーへ連絡するものとする。出発時間後にキャンセルした場合は、キャンセル料が発生する。

(8)利用カードと利用者負担金

- ・利用者は黒河コミュニティセンターにて事前に利用カードを購入する。
 - ①黒河⇄パスコ 1回300円に利用回数分を乗じた額
 - ②黒河⇄真生会富山病院 1回500円に利用回数分を乗じた額
 - ③黒河⇄小杉駅 1回500円に利用回数分を乗じた額
- ・利用者は乗車時に運転手へ利用カードを提示するものとする。（運転手は裏面に確認の印を記入するものとする。）

(9)運賃の支払い

小杉タクシーは月末締めでその月に利用した金額を黒河地域振興会に請求し、翌月末までに黒河地域振興会は小杉タクシーに支払いを行うものとする。

越中大門駅のエレベーター設置に向けた取組

1 事業概要

高齢者や障がい者をはじめとする駅の利用者が安全に安心して利用できるよう、令和3年度に越中大門駅周辺地区バリアフリー基本構想を策定し、越中大門駅へのエレベーター設置をはじめとした、バリアフリー化に向けた取組を推進している。

令和4年度には、越中大門駅エレベーターこ線橋新設に係る基本設計を実施し、令和5年度からは詳細設計等に取り組んでいる。

2 実施主体

あいの風とやま鉄道株式会社

3 スケジュール

令和3年度：基本構想策定

令和4年度：基本設計

令和5～6年度（予定）：詳細設計、測量・地質調査

令和7～8年度（予定）：工事

4 利用状況

(単位：人)

越中大門駅	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4
越中大門駅（年間）	371,163	377,397	297,043	333,755	368,650
越中大門駅（1日）	2,034	2,062	1,618	1,828	2,020



A I オンデマンドバス「のるーと射水」の本格運行

1 経緯

令和5年10月から12月に実施した「のるーと射水」実証運行結果及び利用者アンケートを踏まえ、「のるーと射水」を3月25日（月）から本格運行を開始した。

2 本格運行概要

(1) 運行開始日

令和6年3月25日（月）

(2) 運行エリア

射水市南東エリア

（コミュニティバス⑫⑬⑭⑮番線運行エリア）

※あいの風とやま鉄道を境に南側の小杉地区

(3) 運行時間

平日：午前9時から午後7時

土日祝日：午前9時から午後6時

※通勤通学時間帯（7時～9時）のコミュニティバスは継続運行するが、「のるーと射水」運行時間はコミュニティバスは運行していない。

(4) 料金

1回200円、1日乗車券300円

※コミュニティバスと同様の料金設定

定期券、回数券も共通利用できる。

(5) 予約方法

市公式LINEアプリ、のるーと専用アプリ、電話

3 実証運行結果

(1) 期間中、登録者数、利用者数ともに順調に増加し、多くの方に利用いただいた。（登録者数984人、利用者数3,502人）

(2) 利用者アンケートの集計結果では、9割強の方から「とても満足」、「満足」と回答をいただいた。加えて、70代以上の方27名のうち「とても不満」、「不満」と回答した方は1名のみであり、高齢者の方からも受け入れられているものと考えている。また、幅広い年代の方からの利用があり、通院や買い物など通勤・通学以外の利用も多くみられた。

(3) 満足な点の回答として、「乗りたい時間に乗れる」点が最も多く、これはコミュニティバスの不満な点に最も多く挙げられている「乗りたい時間に便がない」点が解消され、利便性が向上していると考えている。

万葉線への「ICOCA」導入

1 経緯

万葉線株式会社では、利用者の利便性向上やコロナ禍による非接触型キャッシュレス決済への対応、アフターコロナの観光需要への対応のため、全国で利用可能な交通系 IC カードを基本に導入検討を進めてきた。

令和 6 年秋頃からの交通系 IC カードの利用開始を目指し、令和 5 年度から 6 年度にかけて IC 機器製造及びシステム開発を進めている。

2 概要

(1) 導入する交通系 IC カード

ICOCA（西日本旅客鉄道株式会社の登録商標）



(2) 整備期間

令和 5 年度～令和 6 年度

（令和 6 年秋頃からサービス開始予定）

(3) 事業費

約 2.9 億円 令和 5 年度：約 1.3 億円（IC 機器製造、車両改良）

令和 6 年度：約 1.6 億円（システム開発）

出前講座「公共交通のかしこい使い方」

1 事業概要

市民からの要望に応じて、コミュニティバスをはじめとする公共交通の運行内容や使い方（時刻表の見方やバスロケーションシステムの使い方等）について、市職員が地域へ出向き、講座を開催した。

2 実績

	第1回	第2回
日 時	令和5年5月22日	令和5年8月23日
場 所	常磐町公民館	新湊コミュニティセンター
申 請 者	常磐町ふれあいサロン	新湊校下老人クラブ連合会
受講者数	15名	39名

※出前講座の様子



自動運転技術の導入に向けた課題整理

1 事業概要

令和3年8月策定の射水市DXビジョンの中では、「自家用車を所有・運転しなくても生活できる便利な地域交通」を目指している。また、将来的に懸念される運転手不足に対応するため、令和4年度にコミュニティバス等への自動運転技術の導入を見据え、公道での実証実験を実施するための課題を調査し、令和5年度には、その調査結果を踏まえて課題整理を行った。

2 課題調査概要（令和4年度）

(1)委託先 日本モビリティ株式会社（群馬県前橋市）

(2)調査内容

観光エリア等を経由するルートとして新湊地区、小杉駅から住宅が密集する太閤山団地を周回するルートとして太閤山地区を選定し、富山県立大学にGPS基準局を設置のうえ、プローブカー（LiDARやGNSSアンテナを搭載した調査車両）を用いた周辺環境の点群データ（地図情報の作成に必要なとなるデータ）の採取、衛星からの電波（位置情報）受信による自己位置の特定、徒歩等による道路形状（歩道やガードレールの有無等）の調査を実施した。



プローブカー（調査車両）



LiDAR（左）、GNSSアンテナ（右）

(3)調査結果

住宅地域や道路幅員の狭い箇所は、主要な幹線道路と比較して、相当なインフラ整備が必要となり、調査委託業者の自動運転技術を用いた車両の実証実験区間としては不适当という結果となった。

3 課題整理（令和5年度）

全国の導入実績や必要経費等を調査したところ、現時点では自動運転の技術そのものが一般公道で実用的に活用できる状況ではないことに加え、継続的に取り組むには多額の経費を要するため、実証や導入の時期については未定であるが、引き続き自動運転の技術動向に注視していく。